

2005/05/30

情報活用基礎

第7回 図の書き方と文書への統合

医学部・画像解析学分野

中本 将彦

図の書き方と文書への統合

- 本日の目的と課題
- 画像処理ソフトウェアについて
 - ソフトウェアの分類
 - 図形描画ソフトの特徴
- 図の描き方
 - 基本操作
 - 保存
 - 図形の組み合わせ

本日の目的と課題

- 図を描くことができるようになる
 - Star Suite 図形描画が使えるようになる
- 課題
 - 自分の家の周りの略図を書き、ホームページに掲載する
 - おすすめの飲食店等の略図を書き、ホームページに掲載する

画像処理ソフトウェアの分類

- 画像作成 (グラフィックエディタ)
 - 絵や図を自分で描く
 - 何を描くかによって適するソフトウェアが異なる
 - 絵画、イラスト、設計図、地図、グラフ等.
 - 本日は「**図形描画ソフト**」を扱う
- 画像処理 (レタッチソフト)
 - すでに存在する画像を加工する
 - 例: デジタルカメラで取った写真の色調を変える、ぼけをくっきりさせる等.
 - 端末のGIMPというソフトウェアはこちらが得意

図形描画ソフトの特徴

- 幾何図形の組み合わせによって図を描く
 - 幾何図形: 長方形、楕円、直線など
- 色の塗り方は単純
 - せいぜいグラデーション程度

- 向いている用途
 - 模式図、地図など
- 向かない用途
 - 絵画、イラストなど



× 向かない

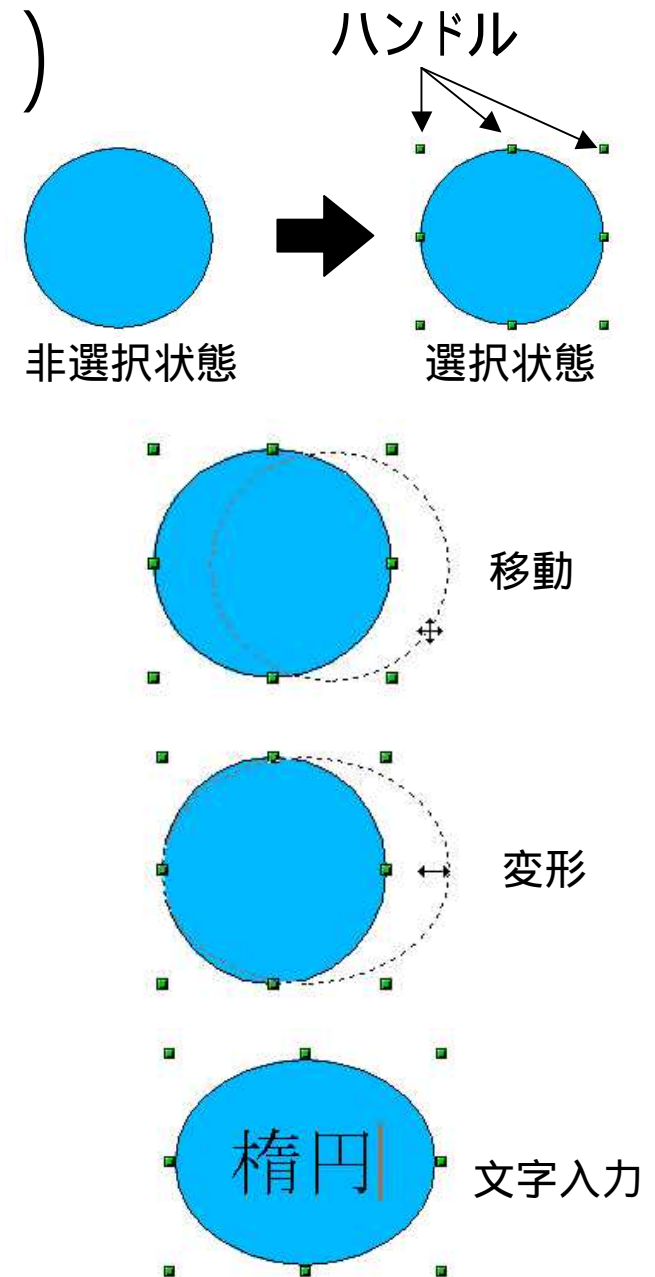


基本操作(1)

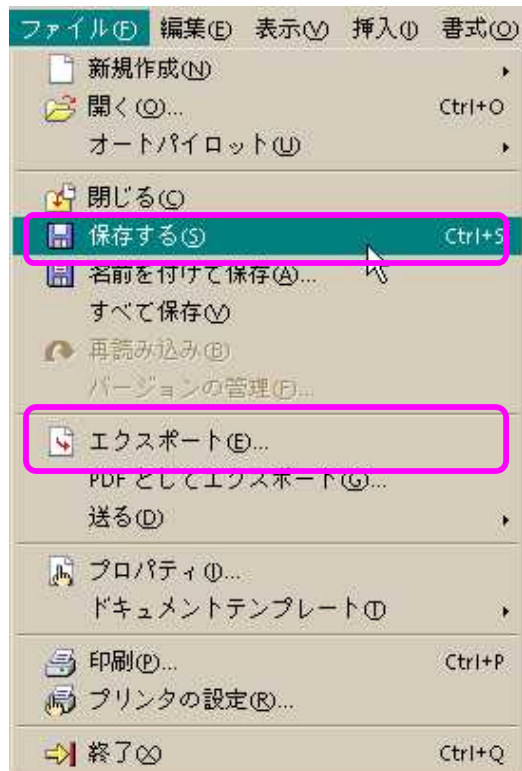
- 画面左のバーから描画方法を選択する
 - 選択した方法によってマウスイカーソルが変わることに注目
- 始点を選択してドラッグする。終点でボタンを離すと図形が確定する
- 文字の場合は、選択地点から入力開始

基本操作(2)

- 図形をクリックすると選択状態になる
 - 画面上のバーで色などを変更可能
 - ハンドル以外をドラッグすると移動する
 - ハンドルをドラッグすると変形する
 - マウスカーソルの変化に注目
- 図形をダブルクリックすると文字を入れられる
- ダブルクリック後に文字を選択状態にするとフォントや色を変更できる



保存とエクスポート(1)



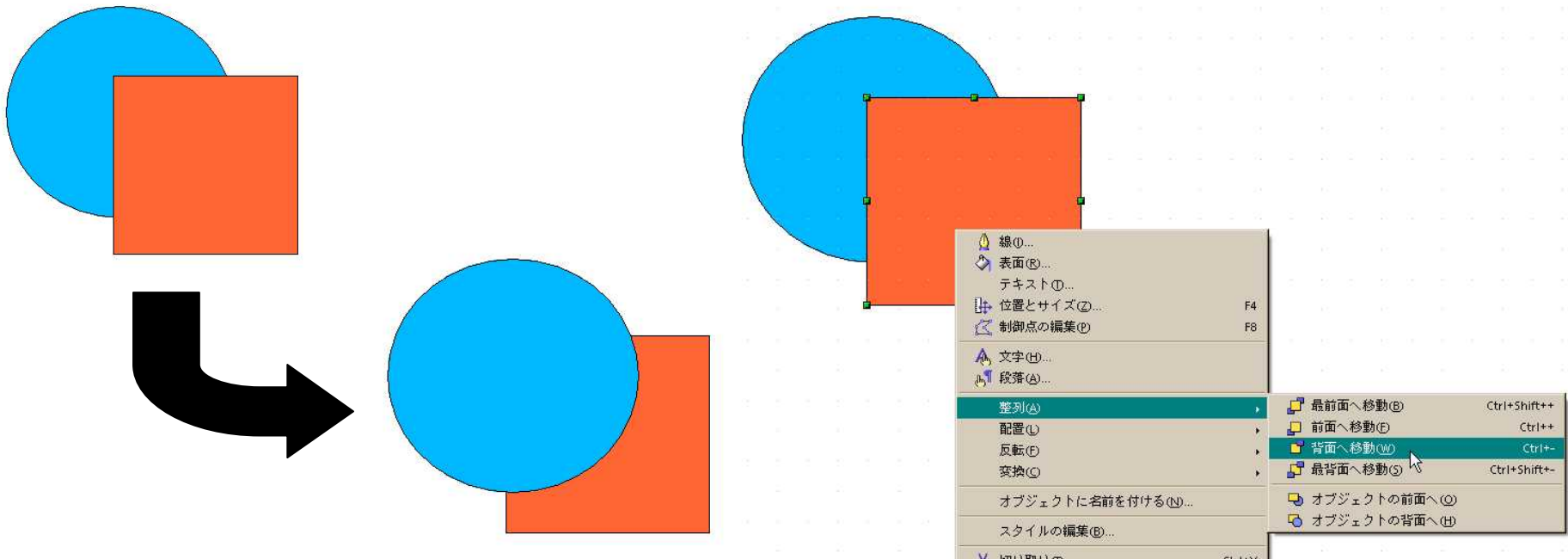
- 「保存」と「エクスポート」は違う
- 保存
 - SXD形式というStarSuite専用の形式
 - ブラウザで見られないのでウェブページでの公開に適さない
 - 図形の情報(位置、大きさなど)を保存する
 - 再度読み込んで編集することができる
- エクスポート
 - PNG, JPEGなどの一般的な形式
 - ブラウザで見られるのでウェブページでの公開に適する
 - 図形としての情報は失われる
 - 再編集できない!

保存とエクスポート(2)

- 「保存」と「エクスポート」の使い分け
 - SXDファイルがあれば、いつでもエクスポートしてPNG or JPEGファイルを作り直すことができる
- 作業中はこまめに保存する
- 完成したらPNG形式かJPEG形式でエクスポートする
 - どちらでもウェブページから見られる
- **必ず保存してからエクスポートする**

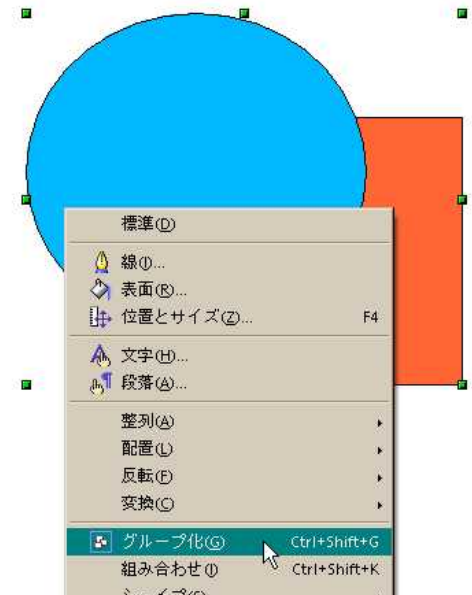
図形の組み合わせ(1)

- 各図形は前後関係をもっている
 - 重ねたときにどちらが隠れるか？
- 図形選択後に右クリックしてメニューを出す
 - 「整列」の中に前後関係を変える項目がある



図形の組み合わせ(2)

- グループ化
 - 複数の図形をひとまとまりとして扱いたい
- 未選択状態でドラッグしてグループ化したい図形を囲む
- 右クリックのメニューで「グループ化」
- もう一回右クリックメニューを出すと解除



本日の課題(再掲)

- 課題

- 自分の家の周りの略図を書き、ホームページに掲載する
- おすすめの飲食店等の略図を書き、ホームページに掲載する